

計 装

コミュニケーション

第52号
2023年3月



計装士会発行

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 第26回計装士会通常総会のご案内 | 1 |
| 計装士会事務局より | 2 |
| 地区活動報告 | |
| 勉強会 | |
| 関東・甲信越地区勉強会報告 (担当幹事：稲生 充) | 3 |
| 見学会 | |
| 関東・甲信越地区施設見学会報告 (担当幹事：稲生 充) | 7 |
| コラム | |
| 「釣り」 (株式会社九電工 今吉 俊博) | 9 |
| 企業紹介・PRコーナー | 13 |
| 安全標語 | 15 |
| 賛助会員名簿 | 16 |
| 幹事名簿 | 17 |
| 入会資格と入会・退会手続きについて | 18 |
| 計装士会ホームページのお知らせ | 19 |
| 投稿募集 | 20 |
| 会員情報変更届出フォーム | 21 |

第26回計装士会通常総会開催のお知らせ

計装士会
代表幹事 大脇 剛

第26回計装士会通常総会を新型コロナウイルス感染防止対策（3密を避け）規模を縮小して下記の通り開催いたします。

- <開催日> 令和5年4月28日（金）
 <時間> 総会 16：00～16：30
 懇親会は新型コロナウイルスが未だ終息に至らない為、見送りと致します。
 <場所> 霞ヶ関コモンゲート西館 霞山会館ビル37階 「牡丹の間」
 住所：東京都千代田区霞ヶ関3-2-1
 電話：03-3581-0401
 （詳細は下記地図参照）



計装士会会員 各位

会員の皆様には、日頃より当会活動にご理解を賜り誠にありがとうございます。

さて、新型コロナの状況はいよいよ3年越しになってまいりました。しかし、未だ終息には至っておりませんが、減少傾向にあることから政府はウィズコロナ政策を掲げ、諸規制を緩和の方向に舵を切り替え、経済を回そうとしております。

計装士会といたしましても、長年活動中止をしていました、「見学会」「勉強・講演会」が出来れば、次年度（令和5年4月～令和6年3月）は、各地区幹事の皆様のご意見をお伺いしながら。小規模でも少しずつ実施していきたいと考えております。

ここ数回の会報には掲載出来ないためにページ数が極端に減少している事につきましては誠に残念ではありますが、以上の状況により少しずつでも本来の会報内容に戻れるように努めてまいりたいと考えておりますので、何卒ご理解を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

計装士会 事務局

関東・甲信越地区 勉強会報告

企画・研修委員会
太平電業株式会社 稲生 充

実施日：令和4年9月26日（月）～30日（金） ※ オンライン勉強会

テーマ：「光ファイバと計装工事」

講師：牧野 泰 講師

株式会社ネットアルファ 常務取締役

小西 治彦 講師

全国情報配線施工技能士会 理事

参加者：61名

主催：計装士会

1. はじめに

今回は、新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見えてこない状況下、集合しての勉強会は難しいとの判断から、計装士会としては初の試みとなりますが、オンラインにて勉強会を開催しました。勉強会の3ヶ月前から、撮影・ビデオ製作会社（株式会社サンワ様）及び牧野先生、小西先生と打ち合わせを重ね、8月3日にビデオ撮影、その後編集・チェック作業を行い、9月26日～30日の間にビデオ配信にてオンライン勉強会を開催しました。以下に、内容につきましてご報告致します。

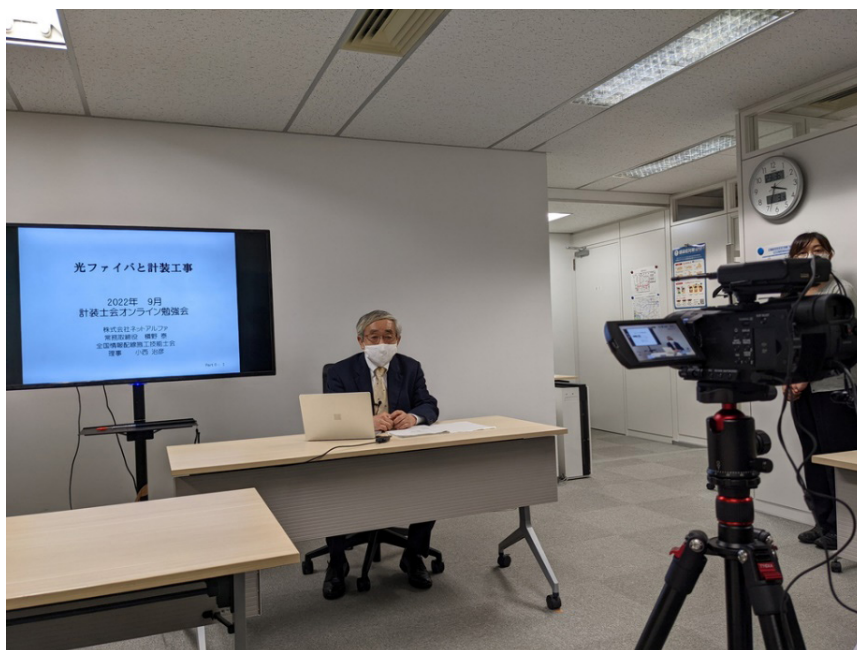
2. 勉強会内容

1) テーマ「光ファイバと計装工事」

次の14項目に分けられ、勉強会が進められた。

1. 光を用いた通信の今昔
2. 光の性質
3. 光ファイバの原理
4. 光ファイバの特性
5. 光ファイバの分類
6. 光ファイバ心線の呼称と規格
7. 光ファイバケーブルの表示
8. 光ファイバの接続
9. 光コネクタ
10. 光ファイバの接続 <実演>
11. 光ファイバの曲げによる損失の変化<実演>

- 12. 光ファイバの施工・保守・運用
- 13. 光ファイバの応用分野
- 14. まとめ



ビデオ撮影の様子（牧野泰 講師）

2) 概要

① 光ファイバの分類

屈折率（コアの特性）によって、シングル/マルチの2種のモードに分類できる。

1. シングルモードファイバは、伝送モードが一つであり、信号減衰が少なく長距離伝送に適している。市場品の約9割がこの種類である。
2. マルチモードファイバは伝送モードが複数あり、信号減衰が多く長距離伝送に適していない。但し、コア径が太く曲げに強い。また接続は比較的容易であり構内配線に向いている。

② 光ファイバの発注

メーカー毎に型式の表現が異なる為、型名呼称とその構成を見て要求される仕様に合っているか判断する必要がある。

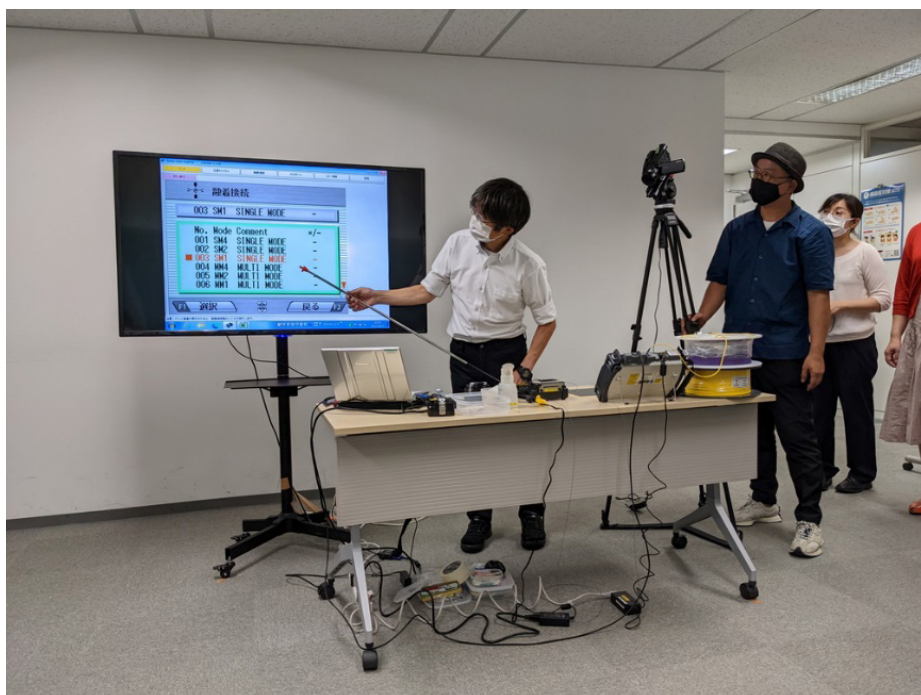
③ 光ファイバの接続

1. 接続方法は「融着接続」「コネクタ接続」「メカニカルスプライス」の3種類。
2. 融着の際に端面が同形状でなければならない。端面の研磨状態は次の4種類が存在する。「フラット研磨」「PC研磨」「SPC (UPC) 研磨」「斜め (APC) 研磨」。

3. 光ファイバ融着機の種類は、「用途」と「調心方式」によって変わる。
「用途」は単心/多芯であるか、調心は外径/コア・クラッドで行うかで選択する。

④ 光ファイバの施工上の注意点

1. 光ファイバは、衝撃・引張・曲げに弱い。その為、付設後に周囲へ注意喚起を促す為にも、外装に着色等による識別表示が必要。
2. 布設時の許容曲げ半径は20倍以上、固定時は10倍以上となるように施工する。但し、繰り返し曲げにより脆性崩壊する点、急峻で曲げると伝送損失が増加する点に注意する。



ビデオ撮影の様子（小西治彦 講師）

3. さいごに

本勉強会において、光ファイバ工事に関する一連の流れ（仕様選定→工事→試験）をまとめて学習することができました。融着 / 試験の実演も含まれており、非常に分かりやすい勉強会だったのではないかと感じております。勉強会参加者のアンケート結果につきましても、「とても面白かった・面白かった」が80.9%。「講演時間の長さはちょうど良い」が90.5%、「また出席したい」が66.7%と肯定的な意見が多くありました。参加者皆様におきまして、今後の業務への一助となる様な内容であったのであれば幸甚です。



大脇剛 計装士会代表幹事

最後に、ご多用中にもかかわらず、講師としてご説明・解説をいただきました牧野 泰先生、小西 治彦先生には厚く御礼を申し上げますとともに、ご参加くださった皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

【執筆者紹介】

稲生 充（いのう みつる）
太平電業 株式会社
工事本部 火力管理部



関東・甲信越地区 見学会報告

企画・研修委員会
太平電業株式会社 稲生 充

実施日：令和4年12月6日（火）10:00～11:30

見学施設：IPA独立行政法人 情報処理機構 殿

産業サイバーセキュリティセンター

場所：東京都 秋葉原

主催：計装士会

参加者：15名

1. はじめに

今回は、IPA独立行政法人 情報処理機構 殿 の施設にて、サイバーセキュリティ演習施設の見学会を参加者15名にて開催しました。施設管理、電力、車載制御などの演習用模擬プラントが用意されており、サイバー攻撃を受けた際にどのような事象が起きるのか、またどのような対策をしなければならないのか講師の方より説明を頂きました。

見学地が秋葉原という事も有り集団での移動を必要とせず、またマスクの着用、手のアルコール消毒の徹底を図ったうえで短時間での開催という事で、感染リスクを極力抑えた見学会を実施する事が出来ました。

2. IPA独立行政法人情報処理推進機構 殿 概要

(IPA:Information-technology Promotion Agency, Japan)

設立：2004年1月5日

（前身の「認可法人情報処理振興事業協会」の設立は1970年10月1日）

IPA 殿 理念：

絶え間なく進化するIT社会の潮流や技術動向を広い視野で捉え、社会課題の解決や産業の発展につながる指針を示していくとともに、情報セキュリティ対策の強化や、優れたIT人を育成するための活動に取り組み、安全で利便性の高い“頼れるIT社会”の実現に貢献する事。

3. 見学会内容

1) 人材育成事業について

社会インフラ・産業基盤における各企業のIT技術者を対象として、産業界のサイ

バーセキュリティ戦略をリードしていく人材の育成に取り組んでいる旨、説明いただきました。1年間にわたる講習の中で、IPA殿の施設内に設けられている各業界の制御計装システムを想定した模擬プラントを活用し、実践的なサイバー攻撃対策の演習などで現場のリスクへの理解を深めつつ、制御システム（OT）と情報システム（IT）の総合的な技術スキルの習得を目指しているとの事でした。

2) 演習用施設を用いサイバー攻撃を想定したデモンストレーション

熱資源再利用設備やビル管理システムなどの社会インフラ、産業基盤に係る制御計装システムの演習用施設を用いて、サイバー攻撃を想定した演習のデモンストレーションを実演いただきました。

熱資源再利用設備では、遠隔操作によるタービンのトリップ、制御盤の誤動作、またビル管理システムにおいては、遠隔操作による停電・監視カメラの映像すり替え等がデモンストレーションできる設備が整っており、講習者に対して、制御計装システムのセキュリティレベルのリスク分析と、対策立案を養う為に活用している旨、説明いただきました。

4. おわりに

ITの利便性が私たちの暮らしや豊かさをもたらす一方で、サイバー攻撃やコンピュータウイルス、不正アクセス等の脅威が存在し、より一層の情報セキュリティ対策が社会的な課題となっている事を鑑み、今回はIPA独立行政法人 情報処理機構 殿での見学会を企画しました。

我々、計装士会会員の各企業においては、制御計装システムの情報セキュリティ対策は避けられない事項であり、非常に有意義な見学会となりました。ご参加いただいた皆様にも、何か得ることがあったのであれば幸甚です。

最後に今回の見学会にご協力いただきましたIPA独立行政法人 情報処理機構 殿の関係者皆様に厚く御礼申し上げます。



【執筆者紹介】

稲生 充 (いのう みつる)
太平電業 株式会社
工事本部 火力管理部



釣 り

株式会社九電工
技術本部電気技術部
今吉 俊博

1. はじめに

私は、工場関係の電気計装工事があるところ、全国各地を駆け回っています。趣味は「仕事」と言えれば、出張・転勤の多い私の部署では一番マッチしていると思いますが、残念ながらそうではありません。好きなことを挙げると「釣り」、「ゴルフ」、「自転車」、「土いじり」など多岐に渡りますが、飽きっぽい性格なのでどれも本腰を入れる訳でもなく、特に上手な訳でもありません。なので自信をもって皆様に紹介できるものはないのですが、一番進んで楽しんでいます「釣り」について紹介させていただきます。

2. 釣り

もともと釣りは幼少期より父に連れられて行っていました。学生時代は特に進んで行くという訳ではなく、誘われたら行くという程度でした。

社会人になり、なぜか地方の沿岸部や離島での業務が多く、その様な場所では特に遊ぶところが多いわけではなく、観光地も早々に回ってしまい、すぐに時間を持て余すようになりました。ただ、自然がいったいな環境を逆手に取り、時間を見つけては大自然を相手にできる釣りに行くようになりました。

初めのうちは気が向いたときにエサを買い、現地の方から道具を借りて釣りを楽しんでいましたが、次第にエスカレートしていき、現地で釣り道具を一式購入、仕事関係の方と徒党を組んで釣りに行くようになりました。現在も社内の釣り好きな方を定期的に集め、大海原へ出かけています。

また、忘れてはならないのが、釣りは他の趣味と違い、魚との駆け引き以外の副産物があります。それは「釣果」です。もちろん釣り上げた魚のことです。これらを「食する」ことも楽しみの1つです。鮮度の良い魚を、自分の腕次第（私の場合ほぼ運）でいっぱい食べられるので、何事にも飽きっぽい私でも毎回集中して勝負しています。

私にとって釣りとは、釣り自身を楽しむことは無論のこと、釣り好きな方々と友好を深め、釣果を美味しく食することができる楽・友・食の3拍子の揃った趣味と思います。

3. 印象に残る釣果

たいした腕前がある訳ではありませんが、私でも大物が釣れた！大漁だった！という印象に残っている釣りをご紹介します。

私は、防波堤釣り、川釣りなども行いますが、食べることも目的の一つなので、大き

く、美味しい魚が釣れる船釣りを好んで行っています。

※以下、魚名などは九州地方の呼び方で記述しています。

1) 対馬でタイラバ釣り

「タイラバ」というタコやイカなどに似せたと思われるルアー（疑似餌）で釣る方法です。この時は、対馬での仕事が一息つき、現場の有志で釣りに行きました。対馬という土地柄、対岸に韓国を望み、船をさほど走らせずとも水深が100mを超える漁場と荒波がお迎えしてくれて、本土とは違う環境で大変楽しい釣りでした。釣果は魚群が濃い事もあり、ほぼ入れ食い状態の大漁でした。そのあとは馴染みの居酒屋に釣った魚を持ち込み、釣りメンバーと一緒に堪能しました。特にアラカブはどんな調理でも美味しく、刺身、煮つけ、唐揚げ、最後にみそ汁にしてもらい、余すことなく美味しく頂きました。



写真1 タイラバで釣ったタカバ、マダイ、アラカブ



写真2 地元居酒屋で調理してもらったアラカブ

2) 福岡で泳がせ釣り

アジなどの生きた小魚を仕掛けに付け、そのまま海底まで落とし、根魚を狙う方法です。瀬や根と呼ばれる海底に点在する丘のような場所の上に船を付け、瀬から流されないよう船を操作し、瀬とその周りの魚を狙います。写真はその時に釣った約80cmのヒラメです。この時が初めての釣り方でしたが、まさしくビギナーズラックでした。家に持ち帰り調理しましたが、家で一番大きなまな板からもはみ出し、包丁が身の奥まで届かないなど、捌くのが大変でした。主に刺身にしましたが、身はプリプリ、贅沢に分厚く

身を切って、大変美味しく頂きました。



写真3 泳がせ釣りで釣った80cmのヒラメ

3) 福岡でイカの夜焚き

夜中に漁船の照明を煌々と点灯させ、その光に寄ってきたイカをイカスツテというルアーを使って釣る方法です。人によってはルアーを10本ほど数珠繋ぎで釣る人もいて、食い気があると一度の投入で大量の釣果が期待できます。この釣り方で最高120匹も釣れたことがあります。その時の釣果が忘れられられず毎年必ず行っています。イカは何匹釣っても冷凍すれば魚のように味が落ちるという事はなく、むしろ味が良くなると言われていています。120匹釣れた時は食べるのに3カ月掛かりましたが、全て美味しく頂きました。また人にお裾分けしても大変喜ばれました。



写真4 夜焚きで釣ったヤリイカ

4) 種子島でほろ引き

いわゆるトローリングのような釣り方で、ルアーを漁船で引っ張り、それに食らいついてくる魚を釣る方法です。キハダマグロ、カツオ、シイラなどの回遊魚で、身の締まった魚がよく釣れます。写真は私が釣り上げたキハダマグロです。大きいもので2m程になるそうですが、種子島近海ではこのサイズが標準です。釣果は、一緒に行ったメンバーと刺身にして食べましたが、さすが鮮度抜群で、プリプリの食感、青物とは思えないまろやか味で美味しく頂きました。

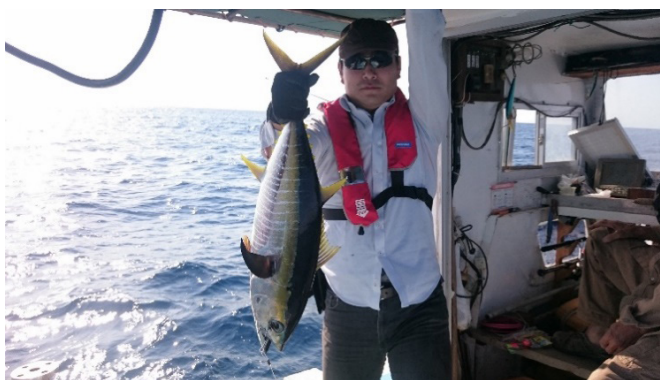


写真5 ほろ引きで釣ったキハダマグロ

4. さいごに

近年、船釣りに行くと様々な方が参加されていると感じます。一昔までは船に乗っているのは常連の男性ばかりで、いかにも素人お断りみたいな雰囲気でしたが、最近は若い人達も多くなりましたし、一家総出や女性だけで参加される方などハードルが低くなったと感じています。また、竿、リール、仕掛け、エサなど全て船で準備してもらえる「手ぶらプラン」なるものやインターネットで簡単に予約ができるなど、素人の方でも簡単に参加できるようになっています。もし興味を持たれた方がいらっしゃったら、是非この機会に、大自然を満喫する開放感！魚との駆け引き！そして食べる喜び！を味わってみてはいかがでしょうか。

【執筆者紹介】

今吉 俊博 (いまよし としひろ)

株式会社九電工
技術本部電気技術部





中電工



変わり続ける世の中に、技術力で応え続ける。
時代が待ち望む快適な環境をつくり出すために、
総合設備エンジニアリング企業として
さまざまな現場で幅広い工事を手掛けています。

そして、快適な明日を支える、省エネで持続可能な社会の実現へ。
さらなる成長を続け、技術で未来を施工する、私たち中電工です。

「快適」に新しいカタチを。

/ 屋内電気工事 / 空調管工事 / 情報通信工事 / 配電線工事 / 送変電地中線工事 / リニューアル工事 / エネルギー関連工事 / 環境関連工事 /

〒730-0855 広島市中区小網町6番12号 www.chudenko.co.jp

安全基本方針

人間尊重の理念に立ち、企業活動の全てにおいて働く人の生命を最優先として、安全文化を醸成します。

その実現のため、以下の項目について実施します。

- 作業における基本事項を遵守し、「災害ゼロ」の達成を目指します
- 指差し呼称の徹底によりヒューマンエラー災害の防止を図ります
- 当社の協力会社とのコミュニケーションを充実し、災害防止を図ります
- 防衛運転に努め、交通災害の発生を防止します

安全活動目標

「災害ゼロの達成」

- コミュニケーションの充実と5Sの徹底

挨拶を始めとする声かけ等で常日頃から、良好な人間関係を構築する。

きれいな職場を継続し災害が発生しない環境づくりを構築する。

- 決めたこと決められたことを守る習慣

TBM・KYで作業前に決めたことを確実に守り、実行する。

異常時の「止める、呼ぶ、待つ」を励行し、思いつき予定外作業をしない。

- 過去の災害を教訓とした安全の先取りによる再発防止対策

トラブル事例を活用して同種災害、類似災害の発生防止活動を実施する。

お客さまのルールに対応したリスクアセスメントの実施、要領書の活用。

- 危険の感受性、敢行性を考えた行動による安全確保

「注意力」「記憶力」は、長時間持続できないことを認識し、腕と指を動かし、

声を耳で聞き、脳を覚醒させる「指差し呼称」で、危険の芽を排除する。



キラリの技、ホットな心
中部プラントサービス

令和4年度 計装士会賛助会員会社名簿

令和5年3月1日現在
(五十音順) 43社

| | |
|-------------------------|--------------------|
| アイビーテクノス (株) | 第一工業 (株) |
| 旭国際テクネイオン (株) | ダイダン (株) |
| アズビル (株) ビルシステムカンパニー | 太平電業 (株) |
| (株) オーテック | 高砂熱学工業 (株) |
| (株) 川瀬電機工業所 | (株) 中部プラントサービス |
| (株) 関電工 | 千代田システムテクノロジーズ (株) |
| (株) 木内計測 | (株) トーエネック |
| (株) 九電工 | (株) 東京エネシス |
| (株) きんでん | 東光電気工事 (株) |
| 栗原工業 (株) | 東芝プラントシステム (株) |
| (株) クリハラント | 東テク (株) |
| 向陽電気工業 (株) | 東邦電気工業 (株) |
| 三機工業 (株) | 東洋熱工業 (株) |
| (株) 三興 | 日鉄テックスエンジ (株) |
| (株) サンテック | 日本電技 (株) |
| J-POWERジェネレーションサービス (株) | 日本電設工業 (株) |
| 四国計測工業 (株) | (株) 日立プラントサービス |
| 昭和アステック (株) | 富士古河E&C (株) |
| (株) 昭和電業社 | 豊楽興産 (株) |
| ジョンソンコントロールズ (株) | (株) ユアテック |
| 須賀工業 (株) | 横河ソリューションサービス (株) |
| 住友電設 (株) | |

令和4年度 計装士会幹事名簿

令和5年3月1日現在

(運営幹事)

| | | |
|-------------|-------|---|
| 代表幹事 | 大脇 剛 | (株)三興 SKGRコーポレート本部 技術企画・教育センター センター長 |
| 副代表幹事 | 笹生 健司 | (株)きんでん 情報通信本部 情報通信技術部 技監 |
| 企画・研修委員(長) | 島崎 真 | ダイダン(株) 東京本社 設計部 設計第一課 担当部長 |
| 企画・研修委員 | 稲生 充 | 太平電業(株) 工事本部 火力管理部 電装課 課長 |
| 企画・研修委員 | 吉川 弘信 | 高砂熱学工業(株) 東京本店 計装技術部 設計課 担当課長 |
| 企画・研修委員 | 吉野 賢治 | 東光電気工事(株) 首都圏東支社 内線第二部 内線第一課 課長 |
| 広報委員(長) | 阿部 達也 | ジョンソンコントロールズ(株) 購買部 サブコントラクトGrパネル調達マネージャー |
| 広報委員 | 金子 啓市 | (株)関電工 営業統轄本部 プラント設備部 副長 |
| 広報委員(兼務HP) | 藤森 一 | アズビル(株)ビルシステムカンパニー 技術本部技術企画部 担当部長 |
| ホームページ委員(長) | 藤森 一 | アズビル(株)ビルシステムカンパニー 技術本部技術企画部 担当部長 |
| 会計・庶務 | 日下 滋 | 千代田システムテクノロジーズ(株) 第1事業本部 特命担当 |
| 監査 | 別府 明敏 | 旭国際テクネイオン(株) 中国事業所 技術本部 |
| 監査 | 大淵 学 | (株)オーテック 環境システム事業部 技術統括部 参事役 |

(地区幹事)

| | | |
|------------|-------|---|
| 東北・北海道地区代表 | 鈴木 和彦 | (株)ユアテック 営業本部 電気設備部 課長兼 プラントグループリーダー |
| 同上業務連絡先 | 松木 哲郎 | (株)ユアテック 営業本部 電気設備部 プラントグループ 副長 |
| 東北・北海道地区 | 西川 博康 | 東芝プラントシステム(株) 東北支社 技術グループ 参事 |
| 東北・北海道地区 | 川崎 久 | 三機工業(株) 東北支店 建築設備部 部長 |
| 中部・北陸地区代表 | 森本 将之 | (株)トーエネック 営業本部 営業部 技術提案グループ 課長 |
| 中部・北陸地区 | 渡辺 淳司 | (株)中部プラントサービス 工事本部 工事総括部マネージャー |
| 中部・北陸地区 | 小池 敏明 | アズビル(株)中部支社 中部サービス部 |
| 近畿地区代表 | 石山 輝英 | (株)きんでん 技術本部 プラント工事部 課長 |
| 近畿地区 | 大久保精之 | 住友電設(株) 技術本部 技術開発室 主席 |
| 近畿地区 | 秋月 成夫 | ダイダン(株) 大阪本社 技術管理部 品質課 参与 |
| 中国地区代表 | 本坊 和樹 | (株)中電工 技術企画部 工場プロジェクト担当課長 |
| 同上業務連絡先 | 土井長昭義 | (株)中電工 技術企画部 工場工事担当専任課長 |
| 中国地区 | 濱本 和信 | 中電プラント(株) 火力部 課長(火力担当長) |
| 中国地区 | 副島 勉 | 高砂熱学工業(株) 技術部技術生産課 課長 |
| 中国地区 | 末田 仁彦 | アズビル(株)ビルシステムカンパニー 中四国支店技術部1グループ マネージャー |
| 四国地区代表 | 松本 和幸 | 四国計測工業(株) エネルギー・環境事業本部 電気計装部 管理課 管理課長 |
| 四国地区 | 谷本 信人 | (株)四電工 システム技術部 副部長 |
| 九州・沖縄地区代表 | 今吉 俊博 | (株)九電工 技術本部 電気技術部 プラントグループ副長 |
| 九州・沖縄地区 | 松原 正義 | 高砂熱学工業(株) 九州支店 営業部 設計課 課長 |
| 九州・沖縄地区 | 山路 鉄次 | アズビル(株) 九州支店 サービス本部 九州サービス部 安全マイスター |

入会資格と入会・退会等手続きについて

計装士会 事務局

1. 入会資格

計装士会会則の第5条（抜粋）より本会会員は次の者とします。

- (1) 正会員 一般社団法人日本計装工業会が実施する計装士資格試験に合格し、1級・2級計装士の資格を有する者
- (2) 賛助会員 本会の目的に賛同し、本会の事業を賛助する個人または法人

2. 年会費・入会手続き

- (1) 年会費 ・正会員：3,000円/年（入会金なし）、振込手数料は会員負担
・賛助会員：会費は別規定（確認は事務局まで）
- (2) 入会 ・正会員：当会指定用紙「入会申込み書・住所等変更届はがき」（用紙は事務局まで）
・賛助会員：別途指定用紙による申込み（用紙は事務局まで）
- (3) 会費納入 ・正会員：「払込取扱票」（郵便局）による（用紙は事務局まで）
口座番号 00150-3-356308
加入者名 計装士会
・賛助会員：別途銀行指定用紙による（用紙は事務局まで）

3. 住所変更等手続き

当会指定はがき：正会員は原則として「入会申込み書・住所等変更届はがき」に必要事項を記入し提出のこと。場合によりFAXでも可。

4. 退会手続き

当会を退会希望する場合は、必ず退会の届出・連絡が必要となります。下記の要領により事務局まで退会届を提出して下さい。

(1) 退会届提出要領

- ① 当会指定の「入会申込み書・住所等変更届はがき」の右上空欄に退会届と明記して提出する。
- ② 当会指定の「届はがき」が手元にない場合は、必ず事務局までFAXか電話で退会の連絡を願います。
- ③ 会員本人が死亡などの場合は、事務局が連絡を受けた時点において受付・処理します。

(2) 年会費納入義務

退会の場合は、必ず退会当該年度までの年会費納入を義務とし、当該年度末（3月31日）退会を原則とします。ただし、会員本人が死亡などの場合は、事務局が連絡を受けた時点までの納入会費で終了とします。

計装士会ホームページのお知らせ

付記：ホームページパスワード変更

追加：正会員のEメールアドレス登録について

計装士会 ホームページ分科会
事務局

計装士会ホームページURLは下記のとおりです。

URL <http://www.keisoshikai.gr.jp/>

会員の皆様へのより早い情報の提供と対応、更に内容の充実を図って参りますので、多くの皆様方の活用とご意見をお聞かせ下さるようお願いいたします。

- 内 容：1. 計装士会事業活動状況・報告
2. 会員コミュニケーション
3. 研修会・見学会・勉強会の技術情報, その他
4. 会員事務手続きおよび問合せ
5. 各種案内（研修会・見学会・勉強会参加案内, その他）

お願い：計装士会は一般社団法人日本計装工業会とは別団体、別組織の運営・活動となっております。各種の問合せは等は間違いのないようにご注意ください。

ホームページ技術資料公開のパスワード変更（会員専用）

新パスワード：keisoshikai23

実 施 日：令和5年4月より実施

<お願い>

平成22年10月より、会員の皆さんへ各種情報・お知らせ等を発信できるようになりました。下記のいずれかの方法で、皆さんのメールアドレスをお知らせ下さい。

- ①当会より定期的に送付される「払込取扱票」の通信欄のE-mail：の項に記入の上、会費振込時にお知らせ下さい。
- ②または、FAXにてお知らせください。（FAX：03-5846-9166）

【投稿募集】皆さんの投稿でより充実した会報に！

広報委員会

過去の通常総会において承認されました本年度の活動方針に「会報並びに各種技術情報の提供」が盛り込まれています。会員のための会報を提供するためには、より多くの会員の皆さんに参画していただき、連携して会報を作っていくことが重要です。

つきましては、下記のテーマで会員に役立つと思われる内容の記事（関連の写真があれば添付）を投稿いただきますようお願い申し上げます。

<テーマ>

1. 技術情報

日常業務の中で体験，調査・検討された作業改善，トラブル事例とその応用・改善等（現場作業での事例を特に歓迎します）

2. 身近な情報

珍しい話題，行事

3. 海外での特異な体験

4. その他

多くの会員に役立ち，参考になると思われる情報

5. デジカメデータまたは写真（JPG.）

撮影年月日，撮影対象，写真提供者名を明記

記事または表紙写真を採用の場合には，薄謝を進呈します。

<原稿送付先>

〒101-0031

東京都千代田区東神田2丁目4-5 東神田堀商ビル 4階

一般社団法人日本計装工業会内

計装士会

Tel. 03-5846-9167 Fax. 03-5846-9166

なお、E-mailで送付される場合には、計装士会事務局まで、上記のTelにてご相談ください。当会メールアドレスをお知らせします。

計装士会事務局御中 変更届 (下記の該当□にレ点を付けてください)

住所変更届 その他変更届 退会届

計装士登録番号 _____ --- _____

御 ^ふ氏 ^り名 ^{がな} _____

御 住 所 〒 _____

連絡先電話番号 _____

E-mail : _____

会 社 名 _____

部 署 名 _____

御 住 所 〒 _____

会社連絡先電話 _____

通 信 欄 _____



広報委員会

| | | | |
|-----|----|----|-----------------|
| 委員長 | 阿部 | 達也 | ジョンソンコントロールズ(株) |
| 委員 | 金子 | 啓市 | (株)関電工 |
| 委員 | 藤森 | 一 | アズビル(株) |

| | | | | |
|-----|----|----|------|-----|
| 事務局 | 片山 | 洋志 | 計装士会 | 事務局 |
|-----|----|----|------|-----|

ほくは、
計装士会
マスコットの
インスです。
大きな耳で
情報を集め、
みなさんに技術・
知識に関する情報を
提供できたらと
頑張っています。



計装士会の活動

- 技術向上へ向けた研修会・見学会・懇話会を全国で開催
- 会報・ホームページによる各種技術資料・情報を提供
- 社会的地位向上への活動

計装士会

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目4-5 東神田堀商ビル4階
一般社団法人日本計装工業会内
Tel. 03-5846-9167 Fax. 03-5846-9166
URL <http://www.keisoshikai.gr.jp/>